

①題：「光としての信仰」(29分)

説教者 : 東海林正樹
聖書朗読 : コリントの信徒への手紙二 4章 8~10節
瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『ハッピーネス』89頁
『キリストの弟子たちは、天へ向かう途上で光を掲げる者として置かれている。』
始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 110番
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 320番

②題：「ハンナの祈り」(30分)

161119

説教者 : 柳 鍾鉉
聖書朗読 : サムエル記上 1章 9~11節
瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『人類のあけぼの』下巻 225頁
『ハンナの言葉は、イスラエルの王として支配するダビデと、主に油そそがれたメシヤとの両方を預言したものであった。歌は、まず、無礼で争いずきな女の高慢さを歌っているが、神の敵が滅ぼされて、神に贖われた人々が最後の勝利を得ることをさしている。』
始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 28番
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 350番

③題：「愛する友、同胞のために」(25分)

161126

説教者 : 友枝琢也
聖書朗読 : ヨハネによる福音書 5 : 5, 6
瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『生活を豊かに』257頁
『キリストは人間が天から力を受けてはじめて、けがれのない生涯が送られるのだということを示すために、この世においでになったのである。そして不屈の忍耐と同情をもって人々を助け、彼らの必要を満たされた。彼はやさしい手をもって人の心から不安や疑惑を一掃し、敵意を愛に、不信を信頼にお変えになった。彼はみこころにかなう人々に『わたしについてきなさい』と仰せになることができ、そう言われた者は、立って彼に従った。彼のみ声が発せられると、この世の魅力は打ち破られ、貪欲と野心的な精神は彼らの心から逃げ去った。こうして人々は自由の身となり、救い主に従うために立ち上がった。』
始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 128番
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 385番

④題：「希望に生きる」(38分)

161202

説教者 : キャンダス・ソープ
聖書朗読 : ローマの信徒への手紙 5 : 1~5
瞑想の言葉 : ローマの信徒への手紙 5 : 1~5
『このように、わたしたちは信仰によって義とされたのだから、わたしたちの主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており、このキリストのお陰で、今の恵みに信仰によって導き入れられ、神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。希望はわたしたちを欺くことはありません。わたしたちに与えられた聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。』
始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 2番
終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 436番
※英語で礼拝される方向けです。

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などでご利用ください。